



酒田市立一條小学校

—校長挨拶—



本校は、庄内平野の北東部に位置し、豊かな田園に囲まれた地域にあります。北に出羽富士と呼ばれる秀峰「鳥海山」と清流「荒瀬川」、東に出羽丘陵、南に出羽三山を眺望できる自然豊かな地域であります。明治7年9月1日に創設されて以来、幾多の校史の変遷を経て、今年度で創立141年目の歳月を経て、今日に至っています。

昇降口前には、昭和47年に同窓会より建立されました記念碑があります。その碑に刻まれている校訓は「望みあり、力あり、光あり」。校訓には、次のような願いが込められております。

<望みあり>・・・希望・目標（志）を持って！

<力あり>・・・それを目指して、努力せよ！

<光あり>・・・努力した後に、それが報われ、栄光がもたらされる。しかし、常に栄光があるわけではない。挫折の中でも光を失うな！



一條小学校を卒業した先輩たちが大切にしてきたこの言葉を、胸に刻みながら、子ども達に自己有用感を持たせ、地域の歴史（風土）を縦糸に、地域の方々とのつながりを横糸に紡ながら、歩み続けていきたいと思っております。

校長 菅原慎一郎

（左上：秀麗なる早春の鳥海山　左下：満開の桜と校舎　文中段：校訓石碑）